

琉球大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

公式ホームページで学長メッセージを発信



平成28年4月14日以降に熊本県と大分県を中心に顕著な地震活動によって、強い揺れを覚めた宮城に被害の甚しむとともに、被災されました皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。本学として、可能な限りの支援を行うこととしてまいります。一日も早い被災地域の復興と全ての被災者の皆様の日々の生活が平穏化することを祈り申し上げます。

なお、今回の地震により御実業が被災されるなど、御実業が被災に遭われた本学学生の皆さんにおかれましては、御相談したいことがありましたら、下記まで御連絡ください。

【連絡先】
学生課学生係 電 話 096-866-4127 平成29年4月18日
国立大学法人琉球大学
e-mail ogigai@pu.kyushu-u.ac.jp 学長 大城 謙

熊本地震の島地区での地すべり調査



平成28年度国立大学法人教育系学部長会議を沖縄県で開催



沖縄DMATへ参加(災害支援活動)



熊本大学災害復旧申請業務支援



1. DMAT、医療支援チームの派遣

・4月17日から6月20日まで、益城地区へ、のべ6名を派遣した。

派遣先	派遣期間	派遣人数
益城地区	4月17日～4月20日	DMAT 4名 (救急医1名・看護師2名・薬剤師1名)
益城地区	6月13日～6月16日	JRAT 1名 (Jリハビリテーション科医師1名)
益城地区	6月17日～6月20日	JRAT 1名 (Jリハビリテーション科医師1名)

2. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本大学	5月16日～6月3日	熊本大学災害復旧申請業務支援	技術系職員 2名
熊本大学	7月4日～7月8日	熊本大学災害復旧申請業務支援	技術系職員 2名
熊本県全域	5月6日～5月11日	現地調整班として主に県庁にて活動 (熊本市、益城、阿蘇、南阿蘇) ※日本病院薬剤師会からのボランティア募集に基づく	薬剤師 1名

3. 支援物資の提供

提供先	派遣期間

4. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	約100,000円	医学部学生「チャリティ」外 pray for kumamoto@沖縄
本学教職員被災者家族	お見舞い金	外国語系合同会議教職員有志
日本赤十字社	600ドル	理学部海洋自然科学科生物系学生
日本赤十字社沖縄県支部(予定)	956,641円 (H28.08.17現在)	琉球大学 教職員
日本皮膚科学会熊本地方会	100,000円(義援金)	琉球大学大学院医学研究科皮膚病態制御学講座
日本皮膚科学会熊本地方会	100,000円(義援金)	高橋健造(琉球大学医学研究科皮膚病態制御学講座 教授)

5. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援(住宅提供等)

- ・日本学生支援機構の緊急採用奨学金(貸与)及び応急採用奨学金(貸与)の申請を受け付ける。
- ・琉球大学学生援護会から奨学金を給付予定。(人数制限なし、支給総額100万円上限)
- ・琉球大学学生援護会から、被災地へのボランティア活動へ支給予定。
(1名あたり3万円支給、30名上限)
・被災支援のための帰省者に対し、無断欠席の扱いとしないよう配慮した。
- ・被災者学生に対し、授業料の免除を行った。
- ・所属する大学の授業が再開されるまでの間、無償で授業を聴講可能とし、また、希望者は学生寮を無料で利用可能とした。
(対象：被災学生で沖縄へ避難又は帰省中学生)
- ・住居が全半壊し、避難所での生活や車中泊を余技なくされている被災者の方へ、無償で宿舎提供をするため、4戸を確保した。
- ・被災者の入学志願者について、平成29年度入学試験の検定料を免除する。
- ・被災地の大学に所属している学生及び教職員について、本学学生・教職員と同等の図書館サービスが利用可能とした。
(利用登録：熊本大学学生8名)

6. 研究活動

- ・施設使用料の免除(被災地域在住又は出身の研究者(大学院生を含む)が本拠点研究施設を使用する場合に、施設使用料を免除する。)
- ・研究用冷凍庫のスペースの提供
(冷凍保存が必要な研究資料等の一時的な保管について、無償で冷蔵庫の使用を提供する。ただし、物品の運搬費については委託者本人負担。)
- ・農学部中村教授が、日本地すべり学会緊急現地調査の代表として被災地の調査を行い、熊本地震災害緊急調査報告会(東京(6月17日)、日本地すべり学会主催)、防災学術連携体熊本地震・3ヶ月報告会(東京(7月16日)、日本学術会議主催)において報告した。
- ・農学部中村教授が、熊本県土木部河川港湾局砂防課および御船町に対して、土砂災害の緊急・応急対策および避難指示に関する技術的支援・指導を行った。
- ・中村教授が、地すべり防止工事技術講習会(福岡市(7月30日)、斜面防災対策技術協会主催)において、熊本地震による地すべり・斜面災害の現地調査に基づく講演を行った。

7. その他

- ・平成28年度全国国立大学法人教育系学部長会議開催のサポート(当番校である熊本大学の被災により熊本での当該会議の開催が困難となったため、本学から沖縄での開催を提案し、了承された。本学は会場の手配及び当日のサポートを行った。H28.5.20開催)
- ・地震後いち早く公式ホームページへ熊本地震支援の学長メッセージを掲載し、被災者学生及びその家族への支援に向けて学内の意思統一を行った。